

王安憶文学作品における上海語研究(3)

—『流逝』(その3)—

吉田陽子

『流逝』について(第2章18~27頁)

頁-行	下線の語彙—上海語 ローマ字—上海語の発音	説明 (文章の翻訳)、(共通語)
18頁-1行 (以下「18-1」と略す)	“端麗，楼下搬进两家江北人，你知道吗？不晓得人怎么样？” 晓得(xiāodek)	(「端麗よ、一階に江北出身の人が2軒引越してきたことを知ってるの？人柄がどうかは分からないね」と。) 晓得:知る。「不晓得」は、【勿晓得vēkxiāodek】のように使われている。)不晓得=〈不知道〉
18-5	“她吃我们的饭，狠得起来吗？”婆婆不以为然，直摇头。 狠(hēn)	(「彼女は私たちの世話になっているので、態度が大きくなれるものでしょうか」と、義母は問題にせず、しきりに頭を横に振っていた。) 狠:きつい。【狠得起来hēndekqīlái】は、可能補語を付加した用法。)狠=〈凶〉
18-11、12	老头子穿了一身灰拓拓的人民装，比旁人更显得邋邋，…… 灰拓拓(huàetaktak) 邋邋(lāktak)	(じいさん〈義父を指す〉は、上下グレーっぽい色の人民服を着ており、他の人よりもだらしくみえる。…) 灰拓拓:グレーっぽい色。邋邋:だらしない;不潔である。邋邋=〈潦倒〉
18-14	文影却前脚跟后脚地出来了。 前脚跟后脚 (xhíjiakgènhhóejia)	(文影は、続いてすぐさま出てきた。) 前脚跟后脚:前の人に続いて、すぐさま動作を行う時の表現。(上海語では、二つの事柄が続いて発生する時、よくこのような表現が使われる。)
18-26	“噢，回来了！”端麗打断了多多，“要烧饭了。……” 烧饭(sàováe)	(「あら、お帰りなさい！」と、端麗は多多の話を打ち切って、「ご飯を作らなくてはね。…」と言った。) 烧饭:ご飯を作る。烧饭=〈做饭〉
18-10、11	“一百零五块？”端麗一愣，光她那两条毛哔叽裤子，当时就花了七十多块。 哔叽(bikji)	(「105元ですか？」と、端麗はちょっとぼかんとしていた。自分のその二着のウールサージのズボンだけでも、当時70元以上かかった。) 哔叽:サージの生地。(上海語では、「哔叽」の生地で作られた服の表現には、高級品というニュアンスが含まれる。) 毛哔叽=〈毛料〉
19-18	端麗不再响了，…… 响(xiān)	(端麗はこれ以上何も言わなくなった。…) 响:話しをする。不响=〈不作声〉

19-22、23	“那个 <u>大块头</u> 阿姨说，他们从来没见过这么好的房子。他们以前住在哪里？是怎么样地房子呢？”咪咪很纳闷。 大块头(dhúkuāedhóe)	(「あの太ったおばさんは、彼らは今までこんな立派な家を見たこともないと言った。彼らは以前何処に住んでいたの？どのような家だったの？」と咪咪は不思議に思った。) 大块头:がっちりした体格で、太った人の表現。 大块头 = 〈大胖子〉
19-27	果然，那 <u>大块头</u> 女人坐在地板上做针线，…… 大块头(dhúkuāedhóe)	(案の定、あの太った女性が床に座って針仕事をしていた。…) 大块头:上記「19-22、23」に同じ。 大块头 = 〈大胖子〉
20-9、10	“给 <u>姆妈</u> 五十块吧。”端丽不作声。 姆妈(m< I 声)mà)	(「母に 50 元上げましょう」と。端麗は黙っていた。) 姆妈:お母さん。姆妈 = 〈妈妈〉
20-13、14	“再买两斤广柑， <u>长远</u> 没有吃水果了。”端丽仍不作声。 长远(zhányuéu)	(「さらに広東産のみかんを 1 キロ買しましょう。久しく果物を食べていなかったから」と。端麗はそれでも黙っていた。) 长远:久しく。长远 = 〈好久〉
20-16	端丽“扑哧”一声笑了：“你怕我不 <u>晓得</u> 花钱？要教我花。” 晓得(xiāodék)	(端麗は「クスツ」と笑って、「私がお金の使い方を知らないとでも心配して、教えてくれたの？」と言った。) 晓得:上記「18-1」に同じ。不晓得 = 〈不知道〉
20-23	“不当家不知道，现在我可知道钱是最 <u>不经用</u> 的。” 经用(jīnyón)	(「家の切り盛りをしなければ知らないことだが、いまなら分かるけど、お金はもともと長持ちしないものです」と。) 经用:長持ちする。经用 = 〈经久耐用〉
21-1、2	“后天要付水电，大后天要来 <u>抄煤气</u> ，离你发工资有十来天，菜金还没着落，这前后算算起码需要三十块钱，才能 <u>挨到</u> 发工资。……” 抄煤气(càomáeqī) 挨到(gnádāo)	(「明後日は電気、水道料金を払う必要があり、明々後日はガスメーター使用量のチェックをしにくる。給料日まではあと 10 日間余りあるのに、食材費はまだ工面ができていない。その前後にかかる費用を計算すると、少なくとも 30 元あれば、やっと何とか給料日まで待つことができる。…」と。) 抄煤气:ガスメーター使用量をメモして確認する。挨到:～まで待つ。挨到 = 〈等到〉
21-4	“这样算下来，不能给 <u>姆妈</u> 了？” 姆妈(m< I 声)mà)	(「このような計算をしたら、母にあげることができなくなったの?」) 姆妈:上記「20-9、10」に同じ。姆妈 = 〈妈妈〉
21-5、6	端丽又缓和了口气说，“ <u>姆妈</u> 那里也有不少穿不着用不着的东西，说不定她也会想到走这一步棋。…这样客气来客气去反成了彼此的负担。” 姆妈(m< I 声)mà)	(端麗はまた口調を和らげて、「お義母さんのところにも少なからず着れない物や使えない物があるので、お義母さんもこの手があることに気づいているかもしれません。…このように互いに遠慮をすれば、却って双方の負担となります」と言った。) 姆妈:上記「20-9、10」に同じ。姆妈 = 〈妈妈〉

		(「穿不着」は【穿勿着 cèuvěkzhak】とも言い、可能補語を付加した用法。)穿不着＝〈穿不了〉 (「用不着」は【用勿着 yónvèkzhak】とも言い、可能補語を付加した用法。)用不着＝〈用不了〉
21-20、21	她想到，要是当初去代课，也许早已转了正，每月也有五六十元工资了。 转正(zēuzēn)	(彼女は、もし当初代講レッスンしに行けば、とつくに正式採用され、毎月五、六十元の給料をもらっているかもしれないと思っていた。) 转正:正式採用される。转正＝〈转正式工〉
22-4、5	文光倒像没事人一样， <u>疲疲沓沓</u> ， <u>笃笃定定</u> ，还常常逃课。 疲疲沓沓 (bhíbhítaktak) 笃笃定定 (dòkdòkdhíndhín)	(しかし、文光は暇人のようにたるんでいて、安心して切っているようで、またよく学校をサボる。) 疲沓:たるんでいる。「疲疲沓沓」は、とてもたるんでいることを表現している。 疲疲沓沓＝〈懶懶散散〉 笃定:安心する。「笃笃定定」は、とても安心することを表現している。笃笃定定＝〈定定心心〉
22-19	还好，卖鱼的营业员出来写 <u>号头</u> 了，……” 号头 (hháodhóe)	(幸いにも、魚売りの店員が出てきて、番号を書き始めた。…) 号头:番号。号头＝〈号码〉
23-20	端丽提起 <u>夹袄</u> 衣角：“ <u>喏</u> ，在这里。” 夹袄 (gak āo) 喏(nào)	(端麗は、裏地のある上着の裾の端を持ち上げて、「ほら、こちらに書いてある」と言った。) 夹袄:裏地付きの上着。夹袄＝〈夹衣服〉 喏:ほら。喏＝〈瞧〉
23-21	“啥地方有？”那女人怀疑地盯着她，…… 啥地方 (sādhífàn)	(「どこに書いてあるの？」とあの女の人が疑わしく彼女を見詰めていた。…) 啥地方:どこ。啥地方＝〈哪里〉
24-8	她排在端丽后边十几个人远的地方，这时，探出身子对大家说话：“她把 <u>号头</u> 写在褂子里面。大家可以查查看，……” 号头 (hháodhóe)	(彼女は端麗より十数人後の所に並んでいて、この時、体を前へ出してみんなに、「彼女は番号を上着の裏のほうに書いてある。みなさんちよつと調べれば分かることだ。…」と言った。) 号头:上記「22-19」に同じ。号头＝〈号码〉
24-11、12	掌秤的女人把鱼倒给她，一边教训道：“以后 <u>晓得</u> 了 <u>口伐</u> ?别把 <u>号头</u> 写在衣服里面，要什么好看！……” 晓得(xiāodek) 口伐 (vak) 号头 (hháodhóe)	(量り売りをしている女性は、彼女に魚をあけながら、「これから分かったの？番号を上着の裏に書かないでね。何かの体裁を繕うてはいけない！…」と小言を言った。) 晓得:上記「20-9、10」に同じ。晓得＝〈知道〉 口伐:文末助詞、疑問文を作る。口伐＝〈吗〉 号头:上記「24-8」に同じ。号头＝〈号码〉
24-15、16	当她又买了点雪里蕻、土豆，转身走出菜场时，遇见阿毛娘和另一个妇女，…… 雪里蕻(xiklíhhón)	(彼女は、また少しの雪里蕻、ジャガイモを買って、くると後ろへ向きを変え、食材売り場を出た時、阿毛母さんともう一人の女性を見かけた。…。) 雪里蕻:野沢菜漬に似た食材。
24-22、23	端丽觉得她话里有些讥诮的意	(端麗は、彼女の話しから皮肉を感じていたの

	思，没 <u>搭腔</u> ，阿毛娘却 <u>搭</u> 了上去： …… 搭腔(dakqiàn) 搭(dak)	で、口を出さなかったが、却って阿毛母さんが話しに乗ってきた。…) 搭腔:口を出す。搭腔＝〈接嘴〉 搭:話しが乗る。(「搭上去」は、方向補語を付加した用法。)搭上去＝〈接上去〉
25-3	“你不 <u>晓得</u> ，他们过去享的是什么福。” 晓得(xiāodek)	(「あなたは知らないでしょうが、彼らは昔どんなに良い暮らしをしたのか」と。) 晓得:上記「20-16」に同じ。不晓得＝〈不知道〉
25-10、11	金花阿姨说：“我看你这样的情况，最适合给人家看个小孩。不要出门，在家里把 <u>钞票</u> 赚了。” 钞票(cāopiào)	(金花おばさんは、「あなたの状況からみると、ベビーシッターに一番合っていると思う。出かけずに、家にいてもお金を儲けることができるわ」と言った。) 钞票:お金。钞票＝〈钱〉
25-16～20	前些日子，“甫志高”借了部 <u>黄鱼车</u> ，帮忙拉一张红木桌去 <u>寄售</u> ，端丽也让他把一张三面镜梳妆台拉走了。……多多不再为跑 <u>寄售</u> 商店掉眼泪了，放学以后常常和几个要好的小朋友一起到 <u>寄售</u> 店逛逛，看 <u>寄卖</u> 的东西卖出了没有。 黄鱼车(huán gōng < II 声 > cō) 寄售店(jìshòudiàn) 寄卖(jīmá)	(数日前、「甫志高」氏がリヤカー一台を借りて、唐木のテーブルを請負販売店へ持って行くのを手伝い、端麗は彼に三面鏡のドレッサーも持って行かせた。…多多は、請負販売店へ行っても涙を流さなくなり、放課後、よく仲の良い友だちと請負販売店へぶらぶらしに行き、売ってもらいたい物が売れたかどうかを確認する。) 黄鱼车:リヤカー 寄售店:請負販売店;古着屋。 寄售店＝〈当舗〉 寄卖:請負販売する。寄卖＝〈当〉
25-27	走了一段，她开口了：“金花阿姨，你，是不是帮我留心一下，有没有这样的人家。我反正没事，也 <u>便当</u> ……” 便当(bhídàn)	(「暫く歩いてから、彼女は、「金花おばさん！おばさんがこのような家庭があるかどうかを気にかけて頂けますか。私はどうせやることがないし、手間もかからない、…」と口を開いた。) 便当:便利な。便当＝〈方便〉
26-10、11	另外，他们自己订 <u>半磅</u> 牛奶，每天就让送奶工人直接送这边来。 半磅(bēubàn)	(また、彼らは自分で牛乳1本の定期配達を依頼し、毎日、牛乳配達員に直接こちらに配達してもらっている。) 半磅:半ポンド(約227グラム)。(1ポンドは453.59グラムである。上海では、新中国設立後でも、牛乳瓶1本の量は「半磅」と言った。)
26-21	“ <u>齷齪</u> 煞了。”多多叫道，“ <u>要死</u> 了！” 齷齪(ókçok) 要死(yāoxī)	(「すごく汚い。」多多が「やってしまった！」と大声で言った。) 齷齪:汚い。(「齷齪煞了」は、【齷齪煞勒ókçok saklek】のように使われている。) 齷齪煞了＝〈脏死了〉 要死了:やってしまった。(上海語では、「要死了」は、【要死勒 yāoxīlek】のように使われている。) 要死了＝〈不得了了〉

27-10	喂庆庆吃东西是一 <u>桩顶顶</u> 伤脑筋的事情。 桩(zàn) 顶(dīn)	(慶慶ちゃんに食べさせることは一番頭を悩ますことだ。) 桩:事柄を数える助数詞。桩=〈件〉 顶:最も。顶顶=〈最最〉
27-12、13	不料他喉咙里咕噜了一声，“ <u>啐</u> ”的一下，又全都吐出来， <u>前功尽弃</u> ，奶腥味搅得端丽也想吐。 前功尽弃(xhígònjhínqī)	(思いがけず、坊やの喉がゴロゴロと音を出して、「ぶわっ」とまた全部吐き出した。いままでの努力が水の泡となり、ミルクの臭みで、端麗も胃が引っ掻き回されているようで、吐きたくなった。) 前功尽弃:努力が水の泡のようになる。(上海語では、日常的によく使われている慣用熟語である。)
27-19	端丽绝望极了，不 <u>晓得</u> 他为什么要绝食，…… 晓得(xiāodek)	(端麗は絶望して、坊やが何故絶食したいのか分からない。…) 晓得:上記「20-16」に同じ。 不晓得=〈不知道〉
27-23、24	“这又不是喂 <u>洋囡囡</u> 吃饭，有什么好试的！”端丽烦躁地拒绝帮助。 洋囡囡(yhiännèunèu)	(「これは西洋人形にご飯を食べさせるのではない。試してみても仕方がないのではないか！」と、端麗はいらいらして、手伝ってもらうことを拒んだ。) 洋囡囡:西洋人形。洋囡囡=〈洋娃娃〉
27-25、26	咪咪不 <u>响</u> 了，过了一会儿，她伸出手指头，在庆庆紧锁着的嘴巴上轻轻敲了三下：“ <u>笃笃笃</u> ，开开门，我要进来了。” 响(xiān) 笃笃笃(dokdokdok)	(咪咪は黙り込んでいたが、暫くしたら、彼女は指を出して、慶慶ちゃんのきつくつぐんでいる口を軽く三回敲いて、「トントントン、ちょっとドアを開けて、入りたいね」と言った。) 响:上記「19-18」に同じ。不响=〈不作声〉 笃笃笃:トントントン(擬声語)。 笃笃笃=〈咚咚咚〉

【参考資料】

「日本語」

榎本英雄／范晓 著『エクスプレス上海語』(白水社)1996年4月5日第6刷

宮田一郎 編著『上海語常用同音字典』光生館出版、昭和63年9月10日初版発行

「中文」

阮恒輝 著『上海話教程』上海辞書出版社、2014年8月

錢乃榮 編著『上海話大詞典』上海辞書出版社、2008年4月第5版

丁迪蒙 著『学説上海話』上海科技文献出版社、2015年1月第2版

【参考文献】

張新穎、金理 編『王安憶研究資料』(上)(下)天津人民出版社、1996年

「王安憶作品」

『海上繁華夢』王安憶自選集之一・中篇小説卷、作家出版社、1996年